

WEB 連載 Entertainment・Essay

木村奈保子の音のまにまに

Written By NAHOKO KIMURA

「ノーレスポンス芸」の舞台は、いつ終わるのか？

木村奈保子の音のまにまに | 第29号

コロナは収束せず、ステイホームの時代。テレビとネットを見続ける。

若い人は、テレビを見ないと言うのが、本当だろうか？

芸人が、田舎の学校に行くこと、生徒たちが目の色を変えて喜んでいる。You Tuberがテレビのバラエティで、健歩する。音楽家は、不特定多数の聴取の前で演奏を披露する。文化人が、正義を論じる。ヒロイックな医師が、コロナの危機をリアルに訴えている。テレビ出演の反応は、決して少なくない。

テレビにより、顔が知られることで特別な人となり、その力で多くの人を楽しませ、勵ましたり、助けたる事もできる。メディアで有名になることは、多くのカードを手に入れることで、いろんな夢が使い、使い方によっては、ヒーローになることができる。

一方でなんの「芸」もないのに、有名にだけなりたい人がいるのは残念だ。エンタテインメントに限らず、主義主張や信念のないコメント出演は邪魔になる。人々のために働かないのに、権力だけをもちたがる政治家は最もタチが悪い。

そういうタイプは、世渡り上手でサクセスしても、自分が持ち得た力を、かけらも人のために使わない。羨もなく、才能もないから、その地位にすがりつくことだけを日々考える。

そんな、素人目で自己顕示欲が強いだけの人が目立ちたがるのは、なぜなのか、私は理解できない。テレビという舞台は見るに、堪えられないものになる。

どんな仕事をするにも、芸（才能、技術などの総称として私は使う）が必要だ。その努力をするのが嫌で、素人芸のまま、社会に出ようとするは迷惑だ。そのうえに、自己顕示欲が強いと、目立ちたい、偉くなりたい、と望むからますます、うざい存在になる。地位や名譽を握りためなら、「芸」がなくても、気にしないのだ。昨今は、与野政治家にこの傾向が強いと感じる。

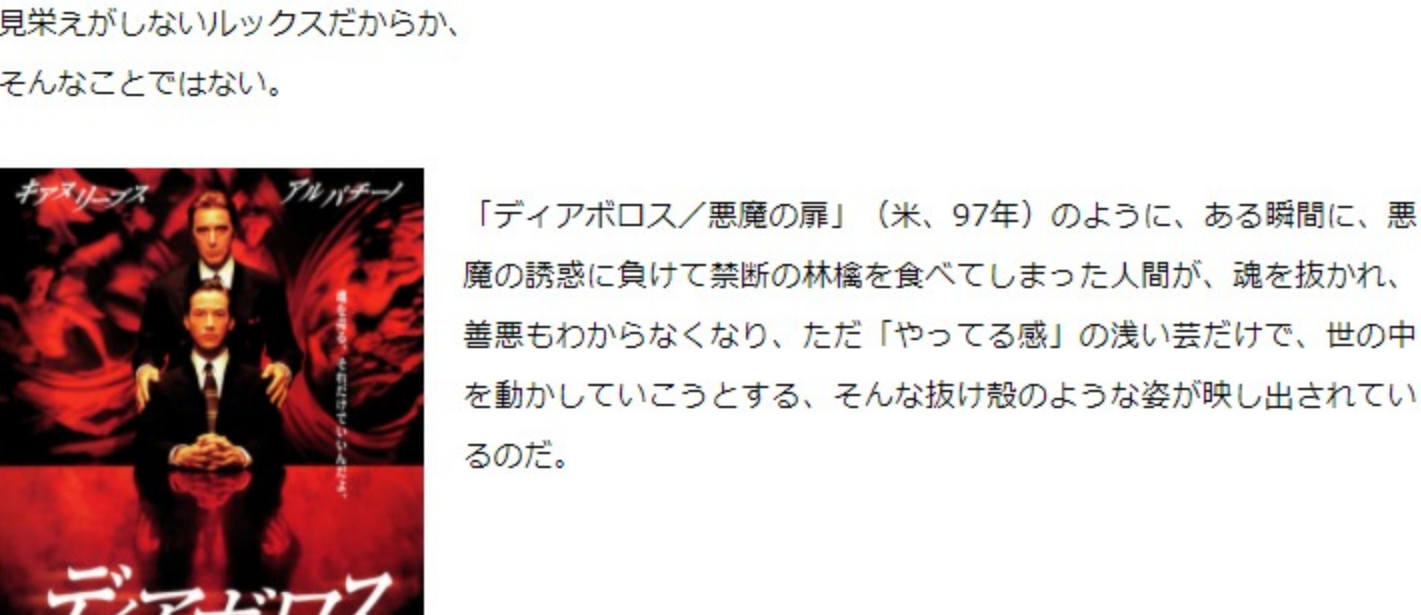
コール・アンド・レスポンス芸に、全く答えず、コミュニケーションから、どこまでも過ぎざけるだけ……。音楽家なら、他人の音を聞かずに勝手に別の音を出しているだけだから、もはや、音楽をクリエイトすることはできない状態だろう。

レスポンスはしないまま、お仲間分まで言い訳と擁護をしていくのがもしかして、政治家のお客要なのだろうか？日本の政治家は、バプリックスピーチが下手すぎる、と言われるがもはや、「スピーチ力」以前の問題ではないか。

小賢しい芸にしても、下手すぎる。「芸」のない嘘をつく政治家たちには、もう、うんざりだ。私の嫌いな悪女や詐欺師でも、それよりは「芸」があるのではないか。

テレビ出演は政治家にとって、重要な仕事の一つだろうが、発信したい真実や、信念もなく、自分たちを守るためにしゃべる。

いまや画面を見るだけで、声やテロップがなくとも顔を見ただけで、レスポンスできないタイプかどうか分かるし、最初の一言の響きのどこにも美意識がない。



まるで自分が、匂いで罪を嗅ぎ分ける「ボダー ニつの世界」（2018年、スウェーデン、デンマーク合作）のヒロイン、トローレ（北歐、伝説の妖怪）になったかと思うくらい、こうしたノーレスポンス行動に対して、匂うのだ。

国会でも、記者会見でも、ゲスト出演でも、カメラが回っているのに、彼らはひるむことなく、感じることなく、ただただ言い訳の垂れ流して画面の空気を淀ませる。

しゃべりが下手なのか、演された厚顔が悪いからか、見栄えがしないリクセスだからか、そんなことはない。



「ディアボロス/悪魔の罪」（米、97年）のように、ある瞬間に、悪魔の誘惑に負けて禁断の林檎を食べてしまった人間が、魂を抜かれ、善悪もわからなくなり、ただ「やってる感」の濃い顔だけで、世の中を動かしていることとする、そんな抜け殻のような姿が映し出されているのだ。

そこまできているレベルだから、もはや言葉も正せ、とか、猛省を促すとか、書いている場合ではないだろう。

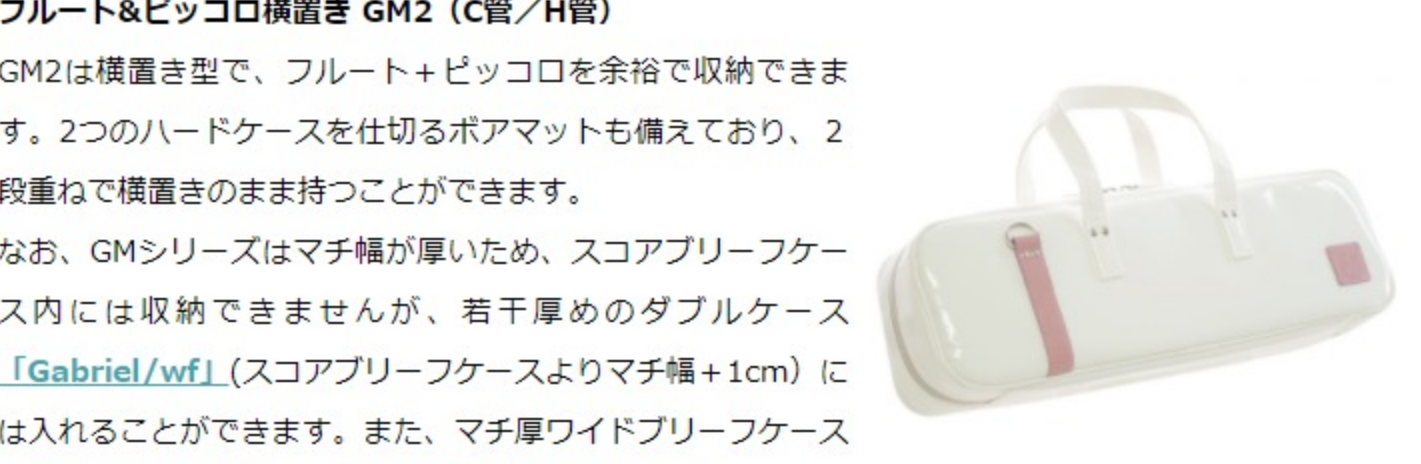
多くの国民にまで見逃がされたのは、よくも悪くも、「芸」の浅さだ。ここまで素人芸を見せられては、「金、返せ〜」と言わざるを得ない。これで、お金が取れると思っているのだから、始末が悪い。

よほどエンタテインメントの世界のほうが、厳しい。



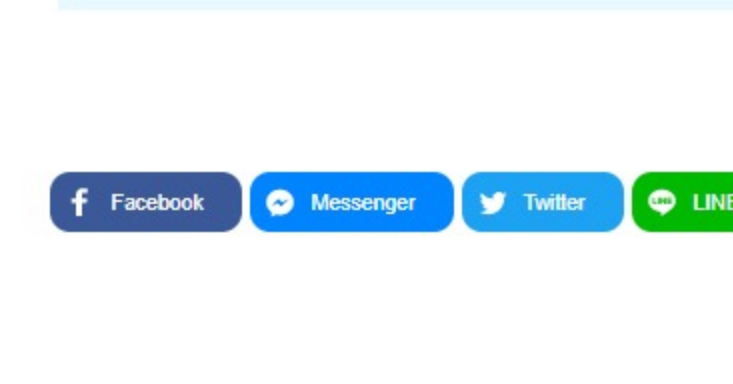
ドキュメント映画にもなった「世界でいちばん貧しい大統領 愛と闘争の男、ホセ・ムヒカ」（2018年、アルゼンチン・ウルグアイ・セリア合作）の第40代大統領、ホセ・アルベルト・ムヒカ・コルダノは、言った。「貧乏な人は、少ししか持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のだ」

「芸」を諷かした貧しい政治家たちが、上級国民としての態度で舞台の上から観客を見下ろし、日々、自己顕示を楽しみながら、お金の裏りを見ている。面白くないと野次った観客は、罰金刑罰に遭わない。もはや、彼らにカーテンコールは求めないだろう。



木村奈保子
作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー
NAHOKI/ブックデザイナー、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役
www.kimuranahoko.com

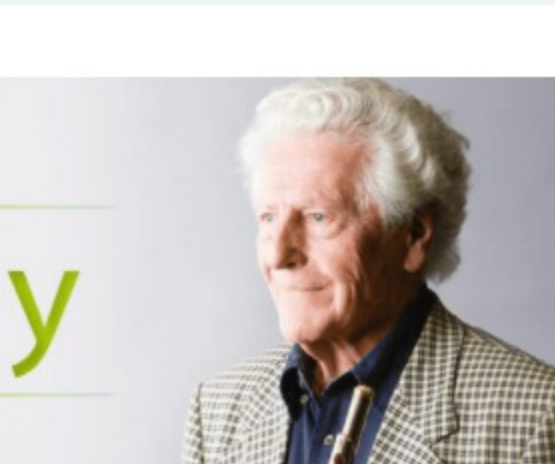
NAHOK Information



木村奈保子さんがプロデュースする"NAHOK"は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「温度調整」「衝撃吸収」機能の楽器ケースで、世界第一線の演奏者から愛好家まで広く愛用されています。
Made in Japan / Fabric from Germany
問合せ&詳細はNAHOK公式サイトへ

PRODUCTS

フルート&ピッコロ横置き GM2 (C管/H管)
GM2は横置き型で、フルート+ピッコロを余裕で収納できます。2つのハードケースを仕切るポアマットも備えており、2段階で横置きのまま持つことができます。なお、GMシリーズはマチ幅が狭いため、スコアフリーケース内には収納できませんが、若干厚めのダブルケース「Gabriel/wfl」（スコアフリーケースよりマチ幅+1cm）には入れることができます。また、マチ厚ワイドファミリーケース「Bandems/wfl」には、CHとも余裕で収納できます。



>>BACK NUMBER

- 第22回：新しい生活様式とともに、新たな文化を〜！
- 第23回：展覧の曲とブルース
- 第24回：“ナオミズム”の強烈なメッセージ
- 第25回：まっとうなヒロイン像の“継承”
- 第26回：ワイルズも持ち味は……
- 第27回：私たちを諦めつづける、その足さどげ
- 第28回：実話の映画化による、シネマセラピーの時代へ

<前の記事 実話の映画化による、シネマセラピーの時代へ

- 関連記事 | MeTooの土壌、日本では？ | 木村奈保子の音のまにまに | 第2号
- 女性の告発に、なぜ目をつぶるのか | 木村奈保子の音のまにまに | 第9号
- 知るべきすべては音楽の中に――楽器を通して自分を表現する | 木村奈保子の音のまにまに | 第7号
- ヒロイックな女たち | 木村奈保子の音のまにまに | 第5号
- エリック・クラプトン〜サウンドとからむ生きざまの物語〜 | 木村奈保子の音のまにまに | 第3号
- 新しい生活様式とともに、新たな文化を〜！ | 木村奈保子の音のまにまに | 第22号
- 今こそ、Go to シアター！ | 木村奈保子の音のまにまに | 第26号
- 平昌オリンピックと音楽 | 木村奈保子の音のまにまに | 第1号

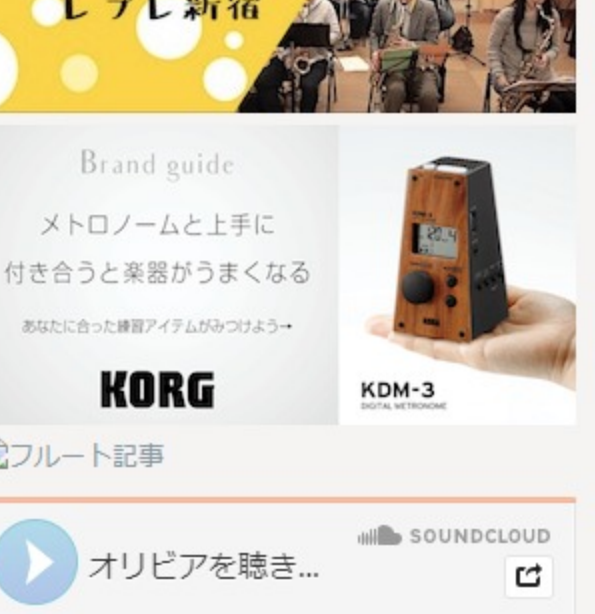
<前の記事 実話の映画化による、シネマセラピーの時代へ

THE FLUTE お知らせ



THE FLUTE vol.179
THE FLUTE | パックンパー
FLUTE CLUB入会・更新はこちら
フルート定期購読

ENTRY 投稿・応募
>> THE FLUTE アンケートへ



フルート記事

- オリーブを聴き... SOUNDLOUD
- オリーブを聴きながら | 香星 | 1:3K
- 思くてやめられない | 村上ゆき | 757
- あゝスイートピー | 和田聖子 | 847
- 音楽たち | 西山直太郎 | 573
- 未来予想図 | Dreams Come True | 671
- 夢をあきらめないで | 岡村孝子 | 735
- 恋はみえる | L'amour est bleu | 570
- ロゼンツ | スビッツ | 790
- 僕の心に恋してる | cant take my love | 746
- PIECE OF MY WISH | 寺井美樹 | 605
- HELLO AGAIN〜昔ながらある場所〜 | M... | 986
- Can You Celebrate? | 安室奈美恵 | 2K
- 勇げないで | LARD | 897
- 夜更けなみこ | SMAP | 693

フルート記事 | フルートの記事

先生と生徒 友だちどうし
2人で行く！
フルートデュオ ア・ラ・カルト
楽譜の特殊奏法を解説！

The Flute ザ・フルート

このページに「NAHO」 | 2,438

The Flute ザ・フルート
01000000

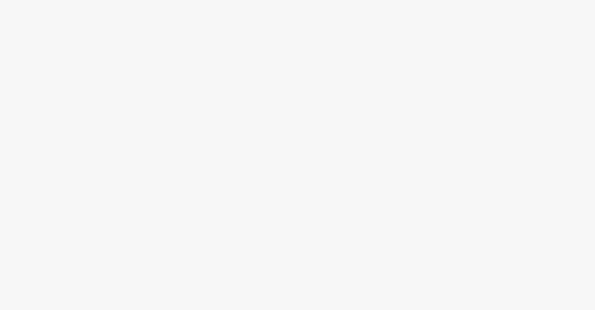
「ノーレスポンス芸」の舞台は、いつ終わるのか？
木村奈保子の音のまにまに | 第29号
「芸」とは「賞断」にあらず。プロであること、いかに生命を賭すか〜「芸」を考えると、世界が変わる…(9)
https://www.alsoj.net/flute/magazine/vol790/4368.html

HOT VIEW

- 今話題の人気記事
 - 木村奈保子の音のまにまに | 第29号
 - 「ノーレスポンス芸」の舞台は、いつ終わるのか？
- HISTORY
 - フルートと大正音楽文化
 - フルート100年トリップ！後編
- MUSIC
 - 若き年代の「ジャズ」
- ARTIST
 - File:17 | お正月スペシャル「海外夕陽」
 - 第17回 インタビュー編「オーケストラ演奏に闘く」vol.4 小池郁江
 - 「YFL-412LSE」を開けようがチェック！
 - 若き年代の「ジャズ」
- ARTIST
 - 若き年代の「ジャズ」
- MUSIC
 - 第10回 | 「戦後のメロークリスマス」
- HISTORY
 - 新・国産フルート物語
 - 【第13回】新国産フルート製造 独自のルーツで切り拓いたものづくり アイオフルート

アーティストの言葉に触れよう BackNumber

Cover Story



Flute Concert Guide

フルートのコンサート情報をお届けします。

PDF Download ↓

アルソ出版 発行楽譜 **PDF**
ダウンロード販売 **スタート!**